

平素は格別のご贔屓にあずかり、誠にありがとうございます。

今回は事例紹介です。

訪問看護で最も行っているケアは、『内服管理・点眼等の処置』というデータがあります。

そのため今回は、『自己管理できていると本人はお話しされるが飲み忘れが多量にでてきたケース』をご紹介しますと思います。

ホームページも開設しております！

『ネットワーク訪問ナースステーション』で検索すると、一番上に出てきます！

お時間あるときは是非覗きにきてくださると嬉しいです👁

今後ともよろしくお願い申し上げます。



A様。70歳代後半女性。現病歴；高血圧・高脂血症・不整脈・膝関節変形症。

ご自身で以前から内服管理されている方で、ヘルパーが内服したか確認しようとする「ちゃんと飲みましたよ。自分でできるから年寄り扱いしないで頂戴。」とお話されていた。近くに住むご家族様が100均のお薬カレンダーがあると便利ではないかと用意したが、「薬が外から見えるのは嫌よ。」と拒否していた。

2, 3日におきにお買い物に行くのが楽しみだったA様だったが、最近外出している様子はなく、「足が痛くて。」とお話されていた。

ある日、ヘルパーが掃除をしていると家具と家具の間に内服薬が多量に入った袋が挟まっているのを発見。ケアマネジャーに連絡が行き、どうすればよいかと訪問ナースステーションに連絡があった。看護師が、「一日分で何錠内服処方されていますか？」と確認したところ、2箇所受診で8錠処方とのこと。特に高齢者は、6錠(種類)以上は多剤内服による副作用リスクが高く、今の症状に合ったお薬なのか一度見てみたいとお伝えし、後日同行することとなった。

ケアマネジャーと同行し、アセスメントしたところ、内服はほとんどできておらず、未内服による足の浮腫で、外出意欲が減退していることが分かった。医師に未内服であること等報告したところ、内服薬は変更となった。医師は処方した薬が内服しても症状が良くならないからと増量していたことも分かった。

ケアマネジャーが、「お薬がしっかり飲んでいれば元気になるから、看護師に来てもらいましょう。」と説明し、訪問看護が介入することとなる。

同行受診で主治医と連携し内服薬調整し(種類・量・回数)、一包化にしてもらった。また、「看護師さんが言うならね。」とご了承いただけた為、A様と一緒に看護師が内服カレンダーにセットすることができた。

しばらく内服管理していくうちに足の浮腫みも取れ、外出もまた以前のように楽しむことができるようになった。(安田)



神経難病、認知症、精神疾患、がんターミナル、骨折後リハビリ等を特に得意としております。

ご相談や訪問看護お試しサービスを無料で行っております。

お気軽にお問い合わせください！



Facebook
開設いたしました！



24時間
対応

ターミナルケア・お看取りも
対応いたします

訪問地域 その他の地域もぜひご相談ください！

世田谷区

松原・代田・代沢・豪徳寺・梅ヶ丘・宮坂・経堂・赤堤

杉並区

永福・和泉・浜田山・下高井戸



〒156-0043

東京都世田谷区松原3-27-38

あとリエどまりおん2C

TEL:03-6379-0683

FAX:03-6379-0684

